

水道料金改定に係る料金体系検討パターン案

資料1

パターン	現状	①案	②案	③案	④案
主な見直し事項	現状	準備料金φ13をφ20へ統一 集合家事用準備料金を一般用φ20へ統一	①案への移行として差の1/2を適用	②案に加え通増度縮小に配慮	②案に加え全モデルケースで料金引き下げ
準備料金への配分割合	26.0%	28.9%	28.1%	28.8%	28.8%
準備料金(φ13)	910円	φ20へ統一 1,120円	φ20との差の1/2を付加 1,010円	φ20との差の1/2を付加 1,010円	φ20との差の1/2を付加 1,010円
集合家事用準備料金	φ13:720円 φ20:930円	一般用φ20へ統一 φ13:1,120円 φ20:1,120円	一般用φ13とφ20から一般用との差の1/2を控除 φ13:910円 φ20:1,020円	一般用φ13とφ20から一般用との差の1/2を控除 φ13:910円 φ20:1,020円	一般用φ13とφ20から一般用との差の1/2を控除 φ13:910円 φ20:1,020円
φ13φ20、集合以外の準備料金	現状	現状	現状	小口径現状、 中大口径:約10%~25%増額	小口径現状、 中大口径:約10%~25%増額
水量区画、単価区分	7段階、5区分 (85円、135円、240円、290円、290円、290円、240円)	7段階、7区分 (75円、125円、230円、255円、260円、265円、240円)	7段階、6区分 (75円、125円、230円、250円、275円、275円、240円)	7段階、5区分 (78円、125円、230円、255円、255円、255円、240円)	7段階、7区分 (65円、135円、240円、255円、265円、275円、230円)
通増度	3.41 (2.82)	通増度拡大 3.53 (3.20)	通増度拡大 3.67 (3.20)	通増度縮小 3.27 (3.08)	通増度拡大 4.23 (3.54)
地下水利用等大口径使用者	現状	準備料金 : 現状 水量料金 : 3,001~ 10,000m3を25円/m3下げ	準備料金 : 現状 水量料金 : 3,001~ 10,000m3を15円/m3下げ	準備料金 : 25%上げ 水量料金 : 3,001~ 10,000m3を35円/m3下げ	準備料金 : 25%上げ 水量料金 : 3,001~ 10,000m3を15円/m3下げ、 10,001m3以上も10円/m3下げ